

アウトリーチ活動

オンライン市民公開講座 驚きの発見

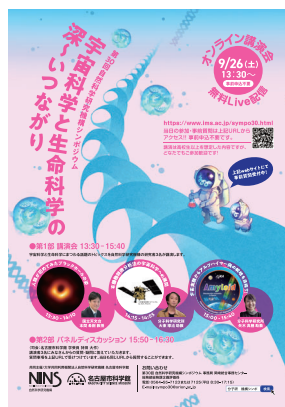
市民向け公開講座として、分子研では年4回分子科学フォーラムを、自然科学研究機構は機構シンポジウムを開催しています。機構シンポジウムは機構本部と各研究所が持ち回りで企画を行っているのですが、2020年9月開催分は分子研が担当でした。どちらもまだコロナがなかった2019年から準備を進めていました。講演者、開催日を決め、告知準備を進めているところにコロナが広がり始めました。その頃はすべて中止の方向で動いていましたが、4月頃からZoom等のweb会議が当たり前となり、開催計画中の講演会をすべてwebで開催することに決まりました。

とは言え、Zoomも始めたばかりで、ベストな配信方法も分かりません。2020年9月開催の機構シンポジウムは展示ブース制作会社が「配信もやります！」とのことでしたのでお願いしました。ところが……、制作会社も初めてのことでリハーサルは悲惨なものでした。各地にいる3名の講演者と司会者をZoomでつなぎ、1つの動画にして配信することにしたのですが、トラブル続きで当日のリハーサルでもまたトラブル……。その場にいるのも怖いくらいでしたが、本番は大過なく終わりました。無事終わった喜びと想定外の参加者数（本サイト累計約1800人、ニコニコ動画約18000人で機構シンポで過去最高）で終わったときはスタッフ一同で拍手！司会進行役を名古屋市科学館の学芸員にお願いしたことで、進行は大変スムーズ、最後のパネルディスカッションも上手にまとめてくださり、参加者も講演者も満足度の高いシンポジウムとなりました。

このシンポジウムはどなたでもお気軽にご参加いただけることを第一に考え、事前申込不要としました。アンケート結果でこれが思いのほか好評でしたので、12月開催の市民公開講座も事前申込不要、YouTubeライブ配信としました。予算の制約により、台本まで自前で作成し配信まで行いましたが、トラブルなく無事ライブ配信を行えました。また、機構シンポジウムのノウハウが活かされ、フォーラムでも過去最高の参加者数（累計527名、常時250～260名）となりました。

これらの講演会のアンケート結果で驚いたことは、どちらもオンライン講演会が良いとの回答が8割前後で、視聴者も大学生や社会人等、これまで参加が少なかった若い層が7-8割を占めたことです。また、資料がよく見えて良かった、科学のセミナーをもっと聞きたい等のコメントもあり、web講演会のニーズがあることが分かりました。

告知方法をもっと開拓していけば、オンライン講演会により多くの集客が見込めそうです。つまり、この機会は、全国に分子研の名を広める大きなチャンス（学生に対しても）です！全国への告知は簡単ではありませんが、地道に告知先の開拓を続けていきたいと思います。最後になりますが、ご協力いただきました講演者をはじめ、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。（広報室 記）



告知ポスターのデザインは今まで以上に力を入れました。
(左) 機構シンポジウムポスター (右) 分子科学フォーラム

ご参考まで—広報活動一覧

ポスター・チラシ配布（全国（SHS校、分野が近い大学・高専、大学生協、科学館）岡崎市（公共施設、中学校、高校等ほか））
東岡崎駅看板、新聞掲載（全国紙には掲載が難しく、地方版に掲載）
メールマガジン配信（分子研約500件、自然科学研究機構約1100件ほか）
フェイスブック広告（若い層に情報が届きやすい）
科学イベントサイトに登録、ニコニコ動画での告知